



三沢さとし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

三沢県議、副議長に就任

円滑な議会運営に全力

予算委員会副委員長の三沢智県議は2月県議会予算委員会総質疑を行い、前年度に続いて予算案に計上された「海業」事業や富津館山道路の4車線化、内房で拡大する磯焼けの問題など、地元館山市に関連する課題を中心に県の施策を尋ねました。

6月県議会最終日に、三沢県議は第78代副議長に選出されました。3期議員が副議長に選出されるのは異例で、武田正光議長とともに、円滑な議会運営にあたることになりました。



予算委員会で総括質疑を行う三沢智県議

2月定例会県議会予算委員会

三沢副委員長 来年度当初予算案では、「海業による地域活性化支援事業」が前年度に引き続き、盛り込まれている。また、令和6年度2月補正予算案では、国事業の「海業振興緊急支援事業」が計上されている。

地元館山市においても、漁村地域の活力低下がみられる中、水産業の発展と漁村地域の活性化につながる。

農林水産部長 各地区の

三沢副委員長 協賛会において、事業計画が策定され、具体的な事業展開について検討された後、事業者が計画の実現に向けて、必要の手続きや、施設の整備、人員の確保などを進めていくこととなります。

三沢副委員長 施設の整備等に活用できる支援制度にはどのようなものがあるのか。

農林水産部長 国と県が事業費の10分の6以内を助

県政への深い知見と情熱



三沢智副議長

正副議長は1年交代が慣例で、通例では4期議員の中から選ばれます。

が、3期議員である三沢智が、県議に選ばれたのは異例で、県政への深い知見と情熱が評価されたものとされています。

三沢県議は館山市選出。これまで県議会予算委員会副委員長や自民党県連の副幹事長を務めてまい

副議長に選出された三沢県議は、「副議長の要職に選出されたのは、地元の皆様の後押しのおかげ。これからは、県議会の円滑な運営に力を注いでいきたい」と話しています。

成する農山漁村振興交付金や浜の活力再生・成長交付金のほか、県が事業費の10分の5以内を助成する東京湾漁業総合対策事業、10分の3以内を助成する水産業構造改善施設整備事業などがあります。

農林水産部長 他県では、漁協が補助事業を活用して施設を整備し、民間に運営を委託して成功している事例もあることから、現在、県で策定中の基本構想においても、マリンレジャーや水産物の消費拡大など、民間

私も地元船形地区の取組に今後も積極的に関わっていくので、県においても県内の様々な地域で、特色ある海業が推進されるよう、各地区への助言や支援をい

三沢副委員長 民間事業者の活用も重要であると考え、県の見解はどうか。

企業等と連携した事業実施も想定して、検討を進めているところ。三沢副委員長 海業の推進については、多くの地区で期待が高まっ

入札参加資格見直し「地域要件」などを設定

三沢副委員長 入札制度の見直しにおける地域産業の育成を図るための必要な条件設定などの配慮は、具体的にどのようなものか。

農林水産部長 社会資本の維持管理や整備を担う地域の建設業の育成や経営の安定化は重要であると認識しており、今回拡大する一

一般競争入札の入札参加資格では、原則として土木事務所管内に本店などを有することとしています。

また、維持修繕に関する工事などにおきましては、県との「災害時の応急復旧等に関する協定」等の締結を要件として設定可能とするなど、引き続き、災害時

の地域の守り手である地域の建設業の受注機会確保に配慮してまいります。

要望

三沢副委員長 入札制度の見直しを円滑に進めるためには、地域の守り手である地域の建設業に十分理解してもらう必要がある。今後とも入札制度を見直す際には、建設業団体に対して丁寧な説明するよう要望する。

富津館山道路

4車線化で防災力強化

三沢副委員長 富津館山

道路の4車線化に向けて、県では、令和3年度に都市計画や環境アセスメントの手続きを着手し、約3年の歳月を経て、1月28日に、全ての手続きが完了したことから、いよいよ、4車線化の事業環境が整った。

私の地元、館山市は房総半島の先端部に位置している。能登半島地震では、半島先端部へ向かう高規格道路でも被災が多発したと聞いており、本県でも半島部の防災力向上は急務だと考

えている。そこで、富津館山道路の4車線化による整備効果などをよく認識しているのか。

県土整備部長 富津館山道路の4車線化によって、南房総地域の観光振興や地域活性化はもとより、対面通行による重大事故の防止、渋滞回数の減少による時間信頼性の確保、道路ネットワークの代替性の確保等の効果が期待されます。

肉房、磯焼けが拡大

三沢副委員長 本県における磯焼けの状況はどうか。

農林水産部長 県の内房海域では、アイゴ、ブダイ、ガンガゼ等による海藻の被害などで、藻場の消失範囲が拡大傾向にあり、富津市から館山市地先にかけて磯焼けが確認されています。また、外房海域では、鴨川市と勝浦市地先の一部で磯焼けの兆候が見られています。

三沢副委員長 磯焼け

食害魚使ってメニュー開発

対策について、県はどのように取り組んでいるのか。

農林水産部長 藻場消失の実態調査、食害魚の試験的な買取りによる駆除の促進、海藻の種の供給源となる藻場造成手法の開発に取り組むほか、漁業者等が実施する、藻場のモニタリング、食害生物の駆除などへの支援を行っています。

三沢副委員長 食害魚の有効利用について、県はどのように取り組んでいるのか。

とも連携しながら、様々な機会を捉えて、国等に働きかけてまいります。

国道127号富津バイパス速やかに4車線化を

三沢副委員長 富浦イン

ターチェンジと館山市街地を結ぶ国道127号については、館山市と南房総市の市境にある川名・富浦地区の館富トンネルを含む約1.5kmの区間が、未だに暫定2車線であり、ボトルネックによる渋滞が頻繁に発生している。

農林水産部長 ブダイを美味しく食べられるよう、県立大原高校が地元漁協などと連携して開発したブダイメンチを、勝浦市や御宿町の小中学校等の給食に提供し、好評を得たところ

です。また、今後は、漁協の食堂で提供されるアイゴを活用したメニューをPRするなど、引き続き、食害魚の有効利用に向けて取り組んでまいります。

三沢副委員長 近年の急激な海洋環境の変化に対応できるよう、県としても県内漁業に対し、可能な限りの支援をお願いしたい。

公共事業 施行時期の平準化重要

三沢副委員長 県では、施工時期の平準化の重要性についてどのように考えているのか。

県土整備部長 施工時期の平準化は、年間を通じた工事量の安定による、建設業者の経営の健全化や従業員の確保・育成に資するものであり、結果として工事の品質確保にもつながる、受発注者の双方に効果がある取組であると考えています。

三沢副委員長 県において、特に公共工事の発注量が多い県土整備部における施工時期の平準化の取組状況はどうか。

県土整備部長 県土整備部では、公共工事の閑散期である年度当初に工事を開始できるゼロ債や、年度をまたいで計画的に工期を設定できる2カ年債務の活用などにより、施工時期の平準化に取り組んでおります。



県執行部の答弁を聞く三沢県議

ギャンブル/薬物 依存症への支援強化

三沢副委員長 オンラインカジノなどのインターネットを介したギャンブルや若年層への薬物などが深刻な

事などを進めるとともに、新設する橋梁の下部工事を実施しているところ。引き続き、早期の4車線化が図られるよう、国に働きかけてまいります。

三沢副委員長 富津館山道路の19.2

kmの全線の4車線化及び国道127号の館富トンネルの4車線化の早期実現に向けて、引き続き、積極的に取り組んでいきたい。

問題になっているが、このような依存症対策にどのように取り組んでいるのか。

健康福祉部長 ギャンブルや薬物などの依存症は、早期の支援や適切な治療により回復が期待できることから、県では、精神保健福祉センターを拠点に相談支援や普及啓発を行うほか、専門医療機関を選定し、専門的な治療や社会復帰に向けた支援を行うなど、医療

問題になってい

●館山市と県政に関するご要望をお寄せください。

三沢さとし 県議事務所

〒294-0037 館山市長須賀470-1
TEL 0470-22-3051 FAX 0470-22-3052

及び相談体制の確保や、依存症に関する正しい知識の普及啓発などに取り組んでいます。

三沢副委員長 依存症に関する相談支援体制の強化をどのように図っていくのか。

健康福祉部長 ギャンブルや薬物などの依存症に関する相談件数の増加等に対応するため、当初予算案では事業費を前年度から増額し、精神保健福祉センターで行う専門家による個別面接相談の実施回数や治療回復プログラムの定員を増やすなど、相談支援体制の強化を図ることとしています。